



あなたとJAを結ぶホットライン

- 特集 ..... 2~3
- TOPIC&EVENT ..... 4~5
- 営農通信 ..... 8~9
- 家庭菜園 ..... 10
- 金融通信 ..... 11

## 特集 経済センター「寄覧館」の取り組み!! (2~3面)

JA柳川青年部蒲池支部盟友による餅つき親子で餅つき、息もピッタリ!!

(JA柳川農産物直売所「ふれ愛の里」にて、5面)



おいしいね!



## 未来へ羽ばたけ青年部!!



### 三世代繋いできた農業の良さを実感しています!!

JA柳川青年部血垣開支部の小宮大作さんは農業を始め、12年。祖父の米・麦栽培から始まり大作さんで3世代目になります。

小さい頃から両親の働く姿を見て育った大作さんは「田植えや稲刈りなどの農繁期にはいつも手伝いをしていました。だから自分も将来は農業をずっと思っていたし、実際に農業に就いていました」と話されます。

就農されてからは、両親の指導やアドバイスを受け、日々努力を重ねています。大作さんが栽培されているナスは、9月からハウスの準備を始め、苗を定植。10月から収穫を開始し、翌年の7月まで作業は続きます。「自分が手をかけてあげれば、作物は日々の成長で返してくれます。頑張っただけ成果として表れますよ」と農業の魅力を語られます。

3世代と農業を引き継いできた小宮さんご家族。「世代を繋いできた農業や農業の良さをあらためて実感しています」と大作さんは笑顔で話しました。

JA柳川青年部血垣開支部

小宮 大作さん (32)

米・麦・大豆・ナス栽培



## 我が家の逸品 menu かしわめし & 豚汁



【写真にある4品のお漬物】  
大根のしょうゆ漬け/べったら漬け/キムチ/干枝漬け

### ●かしわめし

#### 【材料】

米	4合	(調味料)	
鶏肉	100g	淡口醤油	80cc
にんじん	50g	濃口醤油	30cc
ごぼう	50g	酒	50cc
シイタケ	40g	塩	少々
		味の素	小さじ1
		シイタケの汁	100cc

#### 【作り方】

- ①シイタケは水につけて戻しておく。(つけ汁はあとで使います)
- ②鶏肉・にんじん・ごぼう・シイタケをお好みの大きさに切る。
- ③米と調味料を炊飯器に入れ、4合の量まで水を加える。(20分~30分置)
- ④②の材料を炊飯器に入れ炊き上げれば完成。

### ●豚汁

#### 【材料4~5人分】

豚肉	100g	水	1000cc
さといも	3個	ネギ	少々
ごぼう	半分		
にんじん	1/2本		
大根	1/4本		
味噌	大さじ4		
あごだし	粉末調味料	適量	

#### 【作り方】

- ①さといも・ごぼう・にんじん・大根を適当な大きさに切っておく。
- ②水を鍋に入れ、ごぼう・にんじん・大根の具材を加える。
- ③沸騰したら豚肉を入れ火を弱くする。
- ④煮え具合をみながら、さといもを入れる。
- ⑤具材が煮えたらあごだしを入れ、味噌をとく。
- ⑥ネギをひとつまみのせたら完成。

今回のかしわめしは、2月2日「JA柳川農業まつり」で販売しますので、ぜひご賞味下さい。

女性部大和支部 江口 克子さん

## 編集後記

新年を迎え一ヶ月が経ちますね。正月休みはおいしいお雑煮やおせちを食べゴロゴロと過ごしたせいか、以前に増して制服が苦しくなったような…。でも、家族でゆったりできてよかったです。

さて、JA柳川では2月2日(土)に第6回JA柳川農業まつりを本所で行います。今年も新鮮でおいしい柳川産農産物の販売やステージイベントなどの様々な催しを準備しています。皆様のご来場をお待ちしております。



(S-I)

なので

## 「太陽光発電」をはじめると、今が「チャンス!!!」

現在、家庭の太陽光発電で余った電力を、買電の約2倍の1kwあたり42円で買い取る制度が実施されています。しかも、電力会社と一度契約すれば、「10年間」、同じ価格で買い取ってもらえます。もちろん、設置費用に関しては、国の補助制度に加え、市町村の補助制度も利用できます。**（平成25年3月31日設置まで）**太陽光発電システムを、お得に導入するなら、「今がチャンス」です。

太陽光発電システムは、立地や屋根の向きなど、個別の条件により大きく効果が違います。その為、正確な予測はシミュレーションが必要です。そこで、ご希望の方、皆様に無料シミュレーションを実施します。

### また、**2月2日「JA柳川農業まつり」**でも、**太陽光発電システム展示・相談会を開催!!**

（アンケートにお答えいただいた方に粗品進呈）  
※2月2日～3日寄覧館で行っています。

大切なご自宅の、今後長期間にわたって使用していく高額な住宅設備です。ご不明な点・疑問点はなんなりとスタッフにお尋ねください。  
お客様が納得いくまでご説明させていただきます。



また、JA柳川で「太陽光発電システム」を導入させていただいた方のみ、「JA柳川太陽光ローン（リフォームローン）」を優遇金利でご利用いただけます。

## 農業まつりでは、もう一つの取り組み「ごてづくり農園」(市民農園)の収穫祭も開催!!

JA柳川では市民農園「ごてづくり農園」を6年前から行っていますが、今年度よりこの農園を経済センターで管理しています。

農園では消費者に安全・安心・新鮮農産物を知ってもらうことで、「食育」や「食農教育」、「地産地消」など「食」をテーマに、消費者とJAのコミュニケーション活動を実践しています。

さらに今年度から、より多くの地域の方たちが土と触れ合い、身近に農業を感じてもらえるよう、「ごてづくり農園」の一角で営農部職員などと協力して野菜を栽培し、農産物収穫体験を行います。

### その初めてとなる収穫体験が、「第6回JA柳川農業まつり」の日です!



桜島大根1株・青首大根2本・聖護院大根2本・キャベツ1玉をセットにし、収穫体験料込み500円で販売します。(単品でも収穫できます!)家族で収穫の喜びを味わってみてください!!

※ちなみに  
この「ごてづくり」とは、方言で「体づくり」の意味。市民に農作業で汗を流して、健康になってもらおうという思いが込められています。



「ごてづくり農園」では、JA柳川農業まつりの収穫体験後も、じゃがいも収穫などを企画しています。今後もご期待下さい!!

太陽光発電と「ごてづくり農園」収穫体験のお問い合わせは  
**JA柳川経済センター「寄覧館」**まで  
TEL:0944-74-2000

# 経済センター「寄覧館」の取り組み!!



JA柳川経済センター「寄覧館(よらんかん)」では、肥料や農薬、生産資材などをはじめとする様々な商品を取り扱っています。また、種・苗などの家庭菜園関係や生活用品なども充実しています。そこで今回は、組合員や生産部会、お客様から信頼され、地域に愛される店舗づくりを目指している経済センター「寄覧館」が、今年度から取り組んでいる「太陽光発電」や「ごてづくり農園」について、ご説明します。

## なぜ、今、再生可能エネルギー「太陽光発電」なのか!

2011.3.11東北大地震による福島第一原発事故は、原発や火力発電エネルギーに依存した現代生活の問題点を露見しました。原発事故による環境破壊、地球温暖化に伴う異常気象の多発など、環境問題や資源問題などへの関心が高まり、今、自然エネルギーが注目されています。

また、JAグループは10月のJA全国大会で、将来的な脱原発に向けて、再生可能エネルギーの利用促進などに取り組むことを決議しました。

これを受けてJA柳川は、太陽光発電の普及に本格的に乗り出しました。

## 年間光熱費¥250,000(平均)

日本の平均的な家庭の光熱費は、電気・ガス・灯油などで、年間250,000円と言われています。これは、あくまで日本の平均的な金額であり、家族数、家族構成、年齢で大きく変動し、地方の方が、都市部より高い光熱費を費やしています。また、原発の不稼働によるコスト高がもたらす電気料金の値上げ、消費税率のアップなど、今後、家庭費における光熱費の割合はますます高くなります。

## もっとも期待が集まる次世代エネルギー「太陽光」

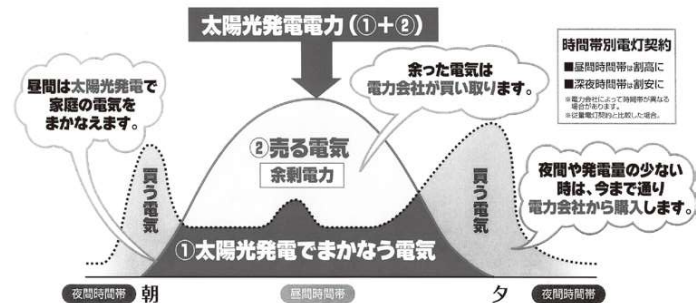
原発事故による環境問題や資源問題などへの関心が高まり、自然エネルギーが注目されています。中でも期待が集まっているのが、「太陽光」です。この太陽光を各家庭で電気に変えることが、年々深刻化する環境問題や資源問題の有力な解決策の第一歩になるのです。

## 「創電」・「売電」で、家庭に貢献「太陽光発電システム」

太陽光発電は、昼間発電し余った電力は売る、ムダのないシステムです。

晴れの日! 電力消費パターン(例)

※地域や条件により異なります。



### A様宅 電気料金比較

	太陽光設置前 (平成23年11月)	太陽光設置後 (平成24年11月)	経済メリット
買電料金(電気料金)	15,468円	6,098円	9,370円
売電料金(入金)	0円	12,525円	12,525円
差引き	15,468円	-6,427円	21,895円

発電容量4.75kw  
(南面設置でシミュレーション)  
電灯契約 電化でナイト(10kVA)



# Topic & Event

## クミアイプロパン 絵のコンクール

全国農業協同組合連合会が主催の「クミアイプロパン絵のコンクール」で、柳川市立豊原小学校3年生の竹田敦さんの作品が、優秀賞に入選しました。また、入賞作品は福岡県代表として全国コンクールに出展され、全国224校・7364点が集まる中で、予選通過し、入選されました。

全国コンクールとのダブル入賞おめでとう！  
JICA JICA JICA



## 新規作物カボチャに挑戦

JA柳川は、管内で生産する露地野菜が途切れる8月～12月の新規作物として、今年度から抑制カボチャ「くりゆたか」の試験栽培に挑戦しています。管内の生産者4人が8月の播種から、JA担当者や南筑後普及指導センターの指導を受け栽培し、11月に収穫を終えました。

12月中旬には営農センターで、収穫したカボチャの試食会を開き、生産者などが参加しました。試食会では、他産地のカボチャなどとも比較し、栽培工程や水管理、追肥の時期など次年度の課題などを確認しました。



## 博多蓄菜出荷規格査定会

JA柳川は、営農センターの初出荷を、11月11日、博多市で出荷規格査定会を行いました。JA職員が平成24年産博多蓄菜集荷計画や収穫・調整方法について説明しました。その後、「博多蓄菜」の見本を見て、出荷規格を確認しました。「博多蓄菜」の出荷は1月16日から始まり、3月上旬まで続きます。福岡特産の「博多蓄菜」をみなさんませひご賞味下さい。



## ソラマメ現地指導会

JA柳川は管内の圃場でこのほど、ソラマメの現地指導会を行いました。生産者が参加し、冬場の管理について確認しました。



## しめ縄作り

JA柳川の三橋支所と血垣開支所は、12月24日(三橋支所)・25日(血垣開支所)ファンづくり活動の一環として、年金友の会会員を対象にしめ縄作りを行いました。両日とも血垣開支所の山口安雄さんが講師を務め、参加者は、作業工程や注意点を確認しながらしめ縄作り挑戦しました。



山口安雄さんは「良い年になるよう、しめ縄に思いを込め作って下さい。そして、自分で作ったしめ縄を玄関に飾り、新しい年を迎えて下さい」と話しました。

## 大型農機具講習会



JA柳川は、農作業中の事故防止や良質均一な農産物収穫を目的に、大型農機具講習会に取り組んでいます。同JA三橋支所でもこのほど、管内の営農組織を対象に大型農機具安全講習会を開き、関係者100人が参加しました。

講習会では、三橋カントリエレベーター、トラクタリヤコンバイン、大豆専用コンバイン3台を持ち込み、JAの担当職員や農機具メーカーが各機に合わせた農作業時の注意点を説明しました。また、作業時のトラブル予防や農業機械の性能を最大限に発揮し長持ちするために、日頃の点検・整備が大切と呼びかけました。

三橋支所の吉開支所長は「参加者が多く、皆さんの安全に対する意識が高まっていると思う。今後とも組合員の安全を第一に考え、講習会を継続していきます」と話しました。

## 大根収穫体験



JA柳川青年部昭代支部はこのほど、昭代保育園の園児100人と保護者を招き、大根の収穫を行いました。大根は、9月末に青年部員と園児たちが一緒に種を播き、その後は青年部で管理を行っていました。

当日は、無事に育った大根を見て園児たちも大喜び。途中で折れないように、根本をしっかりと持って大根を引き抜き、収穫を楽しみました。

昭代保育園の増田英彰園長は「青年部や地元農家の方と園児たちが触れ合い、食に興味を持つことを大切にしています」と話し、青年部の柘島誠昭代支部長は「無農薬で育てた安心・安全な大根をおいしく食べて下さい」と園児たちに伝えました。

収穫された大根は、保育園の給食や家庭でいただきます。

## ガーデニング教室

JA柳川女性部では、クリスマスや正月を前に、12月17日より3支部でガーデニング教室を行いました。

成清幸子先生の指導のもと、すいせんやピオラ、ジュリアン、アイビー、ヘデラなどを使用し、参加者は寄せ植えを楽しみました。



## 手芸教室

JA柳川女性部三橋支所は12月21日、手芸教室を行いました。20人が参加し、寒い冬の季節を温かくする、帽子やマフラーなどの編み物を楽しみました。

手芸教室では古賀昭代先生の指導のもと、季節に合わせた作品を作っています。



## 生花教室

JA柳川女性部は12月25日、昭代支部と三橋支所で生花教室を開きました。

昭代支部では森田良子先生の指導のもと、玄関に飾るお正月用として、縁起のよい松や梅、センリョウなどを竹筒に生けていき、見事な生花を完成させました。



## 年末セール



JA柳川農産物直売所「ふれ愛の里」は12月29日と30日、年末セールを開きました。29日は店頭で、JA柳川青年部蒲池支部盟友による餅つきが行われ、多くの買い物客で賑わいを見せました。

つきたてのお餅は、ぜんざいとて多くの方に振舞われました。

# 福岡県JA「図画・書写」コンクール入賞者発表

平成24年度福岡県JA夏休み作品「図画・書写」コンクールにたくさんのご応募いただきありがとうございます。応募学校数848校、図画・書写合わせて15万37点の作品が集まり、その中から入賞者が決定し、当JAからもたくさんのお作品が選ばれました。入賞された皆さんおめでとうございます。入賞者を紹介します。(敬称略)



信連理事長賞

三橋中2年 島添将希



信連理事長賞

柳河小4年 河野佑海



日本農業新聞賞

矢ヶ部小6年 山口 翔



信連理事長賞

昭代第二小6年 上津原 藍

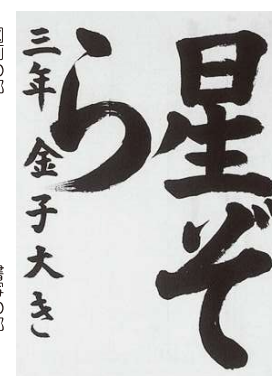


中央会会長賞

藤吉小3年 大橋 徹也

柳河小2年 (優秀賞) 萩島将太郎  
柳河小4年 河野 亜海  
柳河小1年 (佳作) 山口 航  
柳河小2年 堤 陽祐  
有明小2年 山口 麻琴  
柳河小2年 松藤 貴佑  
血垣小2年 武田 怜奈  
柳吉小4年 柳吉小4年

昭代第一小1年 (優秀賞) 梅崎 心桜  
中島小2年 小杉 孝  
柳河小4年 石井 孝次  
垂見小6年 江口 真由  
蒲池中3年 馬場 礼梧  
柳河小1年 (佳作) 大淵 珠実  
二ツ河小2年 堤 瑞生  
藤吉小5年 島添 陽祐  
藤丸 誠也  
与田 真子  
三橋中1年 三橋中1年  
三橋中3年 佐藤恵理伽



日本農業新聞賞

矢留小3年 金子大喜



信連理事長賞

大和中2年 古賀 茅乃

ラウンドアップ マックスロード  
JA柳川 経済センター



JA限定 20Lご予約の方

今だけ  
ついてる!

20Lボトル  
プレゼント  
数量限定



ラウンドアップマックスロード20L  
10万本達成記念キャンペーン  
キャンペーン期間中に20Lボトルを予約購入いただいた方に2Lボトルをプレゼント!

JA柳川 経済センター

## 麦踏みと土入れは間隔をあけて!



### 麦

#### 1. 麦踏み・土入れ

麦踏みは節間伸長開始(2月下旬頃)までに、分げつ促進と徒長防止のために行います。土入れは3月上旬頃までを目安に3回程度実施するのが理想的ですが、土壌水分が高い状態で行うと生育の阻害につながる場合がありますので、できるだけ土壌が乾燥した状態で行って下さい。また、麦踏み直後の土入れは生育を抑制するので、なるべく麦踏み前に実施して下さい。追肥の効果を安定させるためには土入れが効果的です。追肥後に土入れを行っていない場合は早めに土入れを行って下さい。

#### 2. 雑草対策

ヤエムグラ等の広葉雑草が残った場合はエコパートフロアブルを散布します。イネ科雑草・広葉雑草ともに残った場合はハーモニー75DF水和剤を2月上旬頃までに散布して下さい。(スズメノテッポウ5葉期、カズノコグサ3葉期まで)カラスノエンドウが多く発生している場合はアクチノール乳剤を使用して下さい。農薬の使用量等については、「麦の栽培こよみ」を参照して下さい。

#### 3. 排水対策

麦は湿害に弱いので、ほ場の排水性が収量や品質に大きく影響を及ぼします。降雨後の水がほ場に停滞しないよう排水溝の整備を十分に行って下さい。

(農産振興課)

## は種時の注意点

### スイートコーン

#### 1. ほ場の準備

マルチは、は種の一週間程前に行って地温が上がるように心掛け、被覆資材で保温してください。又、ほ場が乾燥しますと発芽率が低下しますので水分不足には注意してください。

#### 2. は種

は種量は、一穴に1~2粒を重ならないように深さ2cm位に押し込み覆土をし、10a当たり、株本数4000~4500本を目安とします。密植栽培は徒長の原因となりますので注意してください。

#### 3. は種後の管理

発芽から2~3葉期までは、密閉管理が良いですが、それ以降は30℃を目安に十分換気を行いましょう。間引きは、本葉3~4枚頃、生育の揃った株を残し、カミソリなどで切り取り1本立てとします。(園芸振興課)

### スイートコーン栽培講習会

下記の通り、スイートコーン栽培講習会を開きます。興味がある方はぜひご参加ください。

【日 時】2月5日(火)14:00~

【場 所】営農センター 2階 大会議室



# 2月 営農通信

## の農作業

## 普及情報

### 花づくりにチャレンジしませんか!

#### 1. 注目の花「トルコギキョウ」

「ブライダルや葬儀に欠かせない花材」「家庭で利用しやすい花材」として需要が伸びている花がトルコギキョウです。日持ちがよいこと、花形、花色が豊富なこと、和風、洋風どちらにも合うことなどが人気の理由となっています。



#### 2. トルコギキョウの主な作型

季咲きでは6~7月に開花する夏の花ですが、秋~春に出荷する作型の開発により、周年出荷が可能となっています。季咲きの6~7月出荷は高単価を狙いにくいので、福岡県内では主に①10月~12月にかけて出荷する秋出荷、②4月~5月にかけて出荷する春出荷、の二つの作型がとられています。秋出荷は加温できる施設、春出荷は日照、加温できる施設が必要となります。

トルコギキョウの主要作型(福岡県、加温施設栽培)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10~11月出荷										○	○	○
11~12月出荷												○
(二度切り)												○
4~5月出荷												○

▲ 播種 = 種子冷蔵 ○ 定植 ■ 加温 □ 出荷 × 切り戻し

トルコギキョウは苗の状態では高温に弱いことが特徴です。そのため、作型ごとに異なる栽培管理が必要です。

①10月~12月の秋出荷では、夏に定植するため、育苗には涼しい条件が必要です。「冷房育苗」の技術が必要となります。管内での生産は、苗を購入して栽培が行われています。苗の単価は1株あたり20円前後です。

②4月~5月の春出荷では、「種子冷蔵」の技術が必要ですが、8月にブラグトレイごと10℃に冷蔵できる冷蔵庫

#### 4. あなたも切り花をつくってみませんか?

トルコギキョウは「JA柳川」を通して販売を行うことにより有利に販売できる品目です。

花きの生産には、育苗や開花調節などの技術が必要とありますが、一度習得すると有利な生産販売が可能です。また、花き生産では、市場情報や需要動向(流行など)をとらえて、毎年品種構成を検討する必要があります。農家個人の経営感覚が試され、面白みがあります。あなたもトルコギキョウ生産にチャレンジしてみませんか!

ご相談は、普及指導センターまたはJA営農センターへ。



出荷を待つトルコギキョウ